

ベーシックアセット の基盤を考える

生活経済政策研究所総会記念シンポジウム

『貧困・介護・育児の政治 ベーシックアセットの福祉国家へ』

2021年6月29日

平川則男

1.はじめに

○ベーシックアセットについて

- ・ベーシックアセットとは、準市場や地域密着型の社会的投資が、当事者の事情に適したサービスと所得保障を実現し、人々が積極的に社会参加できる条件を提供していくことを保障していく。
- ・サービス給付、現金給付、コモンズにおける最適な連携の仕組み
- ・有益で価値のある物や人(公共のアセット)に必要なもの

○ベーシックサービスの基盤として必要なもの

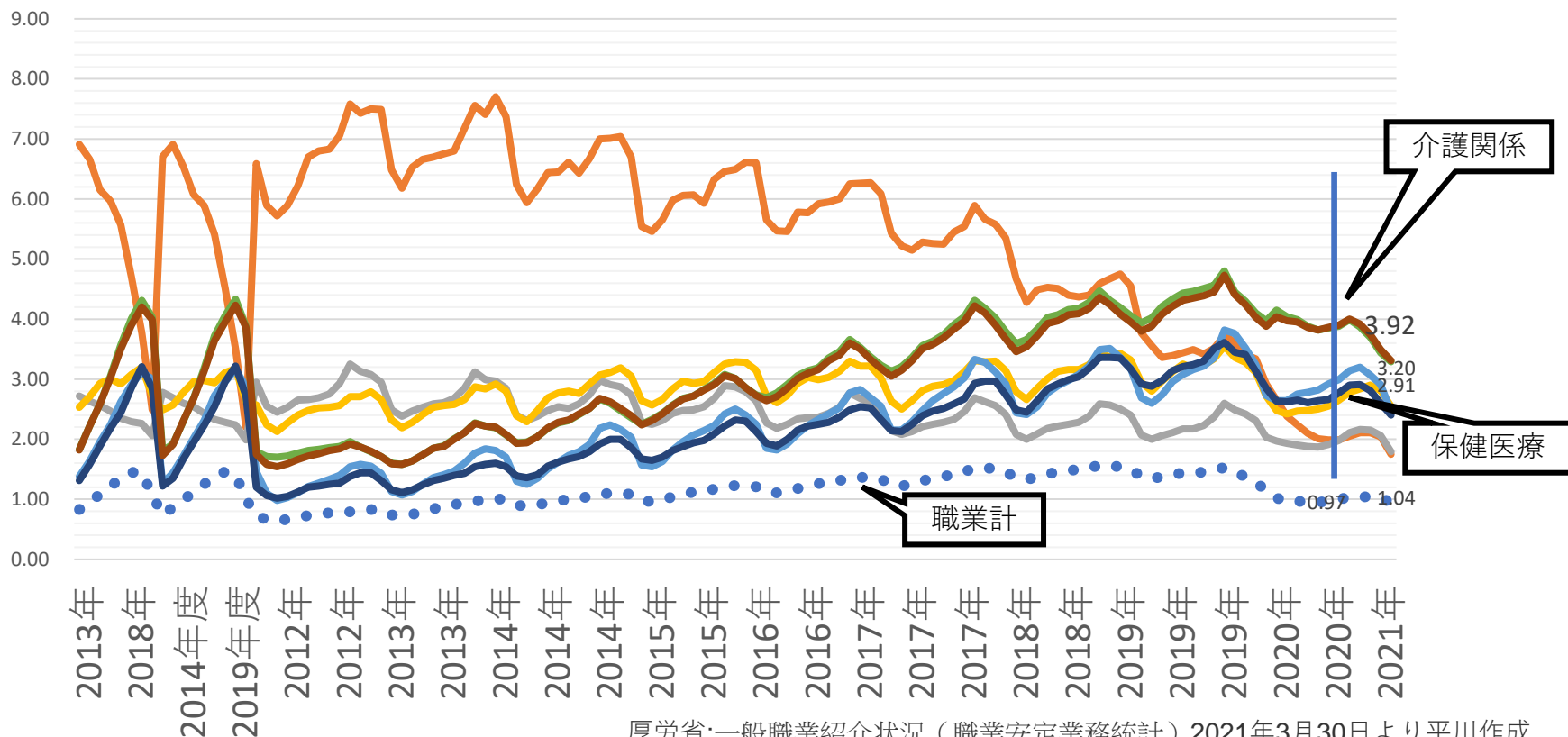
こうしたベーシックアセットの基盤として

- ・NPOやインフォーマルなサービス、社会資源
- ・**公的セクターで働く人々**
- ・マイナンバーなどのシステムや公的機関の機構や連携などの仕組み

2.働く人々のいま-労働市場

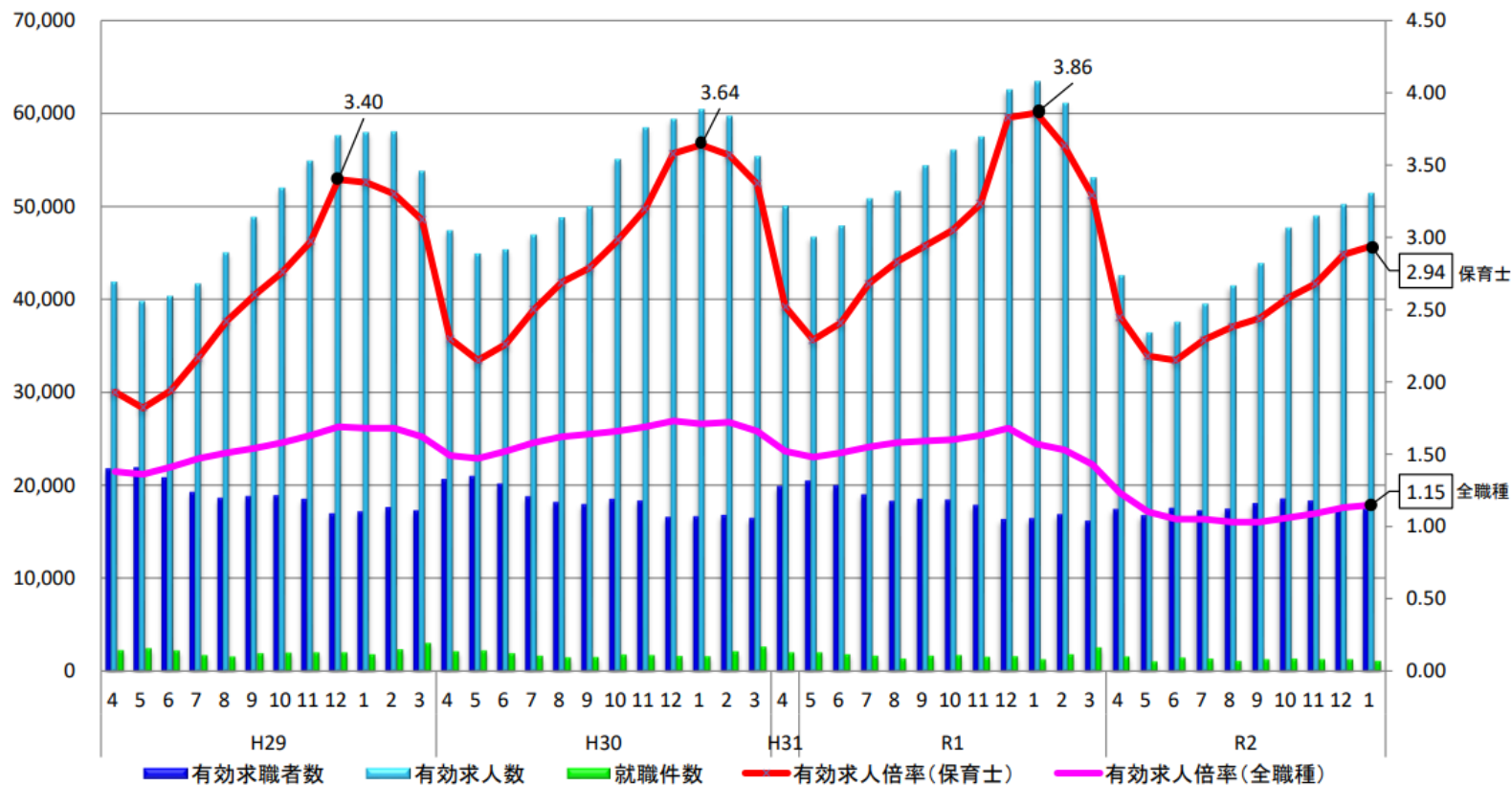
医療・介護・福祉関係職の有効求人倍率の推移

- 職業計
- 保健師、助産師、看護師
- 社会福祉の専門的職業
- 保健医療サービスの職業
- 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師
- 医療技術者
- 介護サービスの職業
- 介護関係職種（注2）



保育士の有効求人倍率の推移（全国）

○ 直近の令和3年1月の保育士の有効求人倍率は2.94倍（対前年同月比で0.92ポイント下落）となっているが、全職種平均の1.15倍（対前年同月比で0.42ポイント下落）と比べると、依然高い水準で推移している。



(出典)一般職業紹介状況(職業安定業務統計)(厚生労働省)

※保育士の有効求人倍率について、各年度の最も高い月の数値を記載している。

※全職種の有効求人倍率は、実数である。

(出典)一般職業紹介状況(職業安定業務統計)(厚生労働省)

3.働く人々のいま-コロナ禍

• 医療

使命感と行動制限(ミッキーに会えない)、仕事が激変、GOTOキャンペーンに対する複雑な気持ち、仕事に対する差別、家族からの転職のすすめ、とにかくコロナに感染しないで!

• 介護

クラスターと人員不足の悪循環、応援による慣れない業務、訪問による感染拡大リスク、してほしくない家族の行動へのジレンマ、面会制限に対する申し訳なさ

• 学童保育・児童館

児童館閉館で子どもがどうなっているのか心配、将棋のコマ、ブロックなどの消毒の大変さ、外遊びが多く子どもがどこで遊んでいるかわからない、指定管理・競争入札・正規職員減の悪循環

• 保健所

とにかく休めなく仕事きつい、電話対応に精神的つらさ、感染者を自宅療養にしかできない辛さ、積極的疫学調査の重要性とやるせなさ、毎日変わる情報とマスコミ報道先行・住民からの不信

4. ベーシックアセットで検討すべき課題

○働く方々の処遇やスキルをどうしていくのか

- ・ 処遇改善のありかた
- ・ 財源の確保
- ・ 住民・利用者・被保険者の理解

○公的セクターの主体についてどうしていくのか

- ・ 指定管理者制度、入札方式など委託の在り方
- ・ 実施事業所に対する牽制機能
- ・ 公務員・公的役割を担う人員について

5.連携もしくは組み立てなおし 最適なサービス提供に向けた課題

○制度の連携

現在は、制度分立、しかし財源など微妙なパワーバランス
地域支援事業や医療・介護の例あり

○公的機関の連携、社会資源との連携

労働と地域の連携は
社会資源との連携は